(6) 参考写真



写真 1「つきすずか」育苗(田植え直前)



写真 2「つきすずか」の育苗時の根張り



写真 3「つきすずか」生育状況 (6月30日) (手前:慣行区、奥側:試験区)

(別紙 3)稲 WCS 専用品種「つきすずか」の搾乳牛への給与実証(令和元年)

富山県農業技術課 広域普及指導センター

1 目的

高糖分・茎葉型の稲 WCS 専用品種の収穫時期、調製方法の異なる 2 種類の稲 WCS を調製し、乳牛への給与を行い、乳生産・血液性状等に及ぼす影響を調査した。

2 方法

供 試 牛:泌乳中後期の 2 産以上の搾乳牛(富山市内の酪農家の飼養牛)

- (1) 試験 1: 稲 WCS (A)、(B) 給与試験:8~15 頭 (比較する各月で変動)※分娩後日数が平均約 170 日 (104~281 日) となるよう個体を選択
- (2) 試験 2: 稲 WCS (B) 給与試験:5 頭※分娩後日数が平均約 220 日 (166~304 日) となるよう 個体を選択

供試飼料:稲 WCS 専用品種「つきすずか」の稲 WCS(A)、(B) の概要¹⁰ ※成分及び発酵品質は(表 1)

区分	収穫時期	予乾	サイレージ 調製前の切断	ラップ 開封 までの期間
稲 WCS (A)	出穂直前 (9/7)	1日	なし	約 90 日
稲 WCS (B)	出穂後1か月 (10/5~11)	無	微細断11	約 70 日

供試期間と給与量:

- (1) 稲WCS (A):(76 日間、R1.11/5~R2.1/19)、乾物 0.8kg(現物 2.0kg)
- (2) 稲WCS(B): (32 日間、R2.1/20~2/20)、乾物 0.6kg (現物 2.0kg)

給与方法:TMR に含まれる粗飼料 11.8DMkg/日 (ソルゴーサイレージ:7.7DMkg/日+イタリアンライグラスサイレージ:4.2DMkg/日) のうち、

(1) 試験 1:イタリアンライグラスサイレージを乾物重量で稲 WCS (A)0.8DMkg /日で代替 (稲 WCS の DM 中含量:粗飼料中 6.8%、全飼

26

^{*&}lt;sup>10</sup> 「3.高糖分・茎葉型の稲 WCS 専用品種の収穫時期及び調製方法が WCS の品質に及ぼす影響 (令和元年度) | の「適期収穫」、「適期収穫・高密度 | WCS

^{*11} 設定切断長 1.1cm

料中 2.9%)

(2) 試験 2:稲 WCS (A) 0.8DMkg/日を稲 WCS (B) 0.6DMkg/日で代 替

(稲 WCS の DM 中含量:粗飼料中 5.1%、全飼料中 2.2%)

- 調査項目: (1) 試験 1:稲 WCS (A) 、(B) 給与前後の比較:乳量、乳成分*¹² (牛群検定成績)
 - (2) 試験 2:稲 WCS(B) 給与前後の比較:血液性状*¹³(総タンパク質、アルブ・ミン、BUN、血糖、総コレステロール、NEFA)

	R1 年 10 月	11月	12 月	R2 年 1 月	2月	3 月
【試験期間】						
(1) 試験 1 期間	開始					終了
(2) 試験 2 期間		開始				※ ※
【給与量】			ソルコ・ーサイレーシ 7.7kg/日			
粗飼料 (DMkg)	イタリアンライク [*] ラス サイレーシ [*] 4.2kg/日	給	WCS(A) 与開始 Bkg/日		í WCS (B) 給与開始 0.6kg/日	
【測定日】 (1) 試験 1 乳量·乳成分測定日	▲ 10/19	▲ 11/21	▲ 12/20	▲ 1/20	▲ 2/19	1
(2) 試験 2 血液性状測定日		·	·	▲ 1/17	A 2/18	

(図1) 稲 WCS(A)、(B)の給与と試験1、2の調査日

3 結果

(1) 稲 WCS (A) 給与試験

稲 WCS (A) の給与により、乳量は増加傾向にあったが、稲 WCS (A) 中の CP が低かったため、乳タンパク質が低下した可能性があった(表 2)。

^{*12} R1 年 10~R2 年 2 月の毎月 20 日頃の牛群検定成績

^{**&}lt;sup>13</sup> 搾乳 (6:00~8:00) 後、9:30 に採血、血清分離して-80°Cで冷凍し、分析機関(一般社団法人生物化学安全研究所(神奈川県))で分析

(2) 稲 WCS (B) 給与試験

稲 WCS (B) の給与により、乳量は減少傾向にあった (表 2) が、血液性状については、大きな変化はなかった (表 3)。

(表1) イタリアンライグラスサイレージと稲 WCS(A)(B)の成分(乾物中)及び発酵品質

		イタリアン ライグラス サイレージ	稲WCS (A)	稲WCS (B)
	水分	41.3%	60.6%	71.5%
	СР	11.7%	6.3%	5.6%
	CF	29.7%		
	NDF	59.7%	68.4%	54.9%
一般成分	ADF	34.9%	35.0%	32.1%
	ADL		3.1%	1.4%
	デンプン		16.6%	6.7%
	NFC		12.5%	29.0%
	EE	3.8%	1.7%	2.2%
エネルギー	TDN	61.4%	52.5%	64.4%
繊維の評価	OCC		22.9%	34.1%
税収がE 0ノa十1川 	OCW		63.2%	56.4%
発酵品質	рН		5.2	3.9
	アンモニア態N		0.03%	0.02%
	アンモニア態N/全N		3.10%	2.40%
	酪酸		0.00%	0.00%
	乳酸		1.66%	4.32%
	酢酸		0.37%	0.43%
	プロピオン酸		0.00%	0.00%

(表2) 稲 WCS (A) (B) の給与が乳量・乳成分に与える影響

		R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	p=
稲WCS(A)給-	与日数		17日目	46日目	77日目	_	
稲WCS(B)給-	与日数		_	_	_	31日目	
n=		8	10	12	9	15	
分娩後日数	(日)	172 ± 52	170 ± 56	173 ± 67	168 ± 32	170 ± 41	1.00
乳量	(kg)	36.0 ± 4.8	35.7 ± 6.6	37.9 ± 10.0	40.2 ± 5.4	36.5 ± 4.7	0.64
乳脂肪	(%)	4.08 ± 0.82	4.03 ± 0.86	4.26 ± 1.00	4.11 ± 0.35	3.95 ± 0.54	0.90
乳タンパク質	(%)	3.78 ± 0.28	3.53 ± 0.47	3.64 ± 0.48	3.53 ± 0.26	3.65 ± 0.27	0.65
SNF	(%)	9.04 ± 0.22	9.19 ± 0.46	8.88 ± 0.45	9.06 ± 0.24	9.00 ± 0.29	0.36
4%FCM	(kg)	36.1 ± 3.9	35.2 ± 3.3	38.7 ± 9.8	40.8 ± 5.8	36.3 ± 5.6	0.34

(表3) 稲 WCS (B) の給与が血液性状に与える影響

		稲WCS(B)	稲WCS(B)	
		給与前	給与後	p=
WCS(A)給与日数		74日目	_	
WCS(B)給与日数		_	30日目	
n=	***************************************	5	5	
分娩後日数	(日)	216 ± 55	220 ± 28	0.88
総タンパ・ク質	(g/dL)	7.57 ± 0.42	7.87 ± 0.73	0.46
アルフ゛ミン	(g/dL)	9.27 ± 0.35	9.12 ± 0.22	0.46
BUN	(mg/dL)	13.7 ± 1.4	14.4 ± 0.9	0.38
血糖	(mg/dL)	64 ± 4	63 ± 3	0.86
TC	(mg/dL)	208 ± 36	207 ± 28	0.96
NEFA	$(\mu \text{Eq/L})$	66 ± 9	75 ± 13	0.24